



## 第2回定例議会に提出された発議案

### 発議案第1号

「真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書」

〔全会一致で可決〕

―意見書の内容―

地方の改革案に沿った地方分権改革の実現のため、衆議院・参議院の両議長をはじめ関係大臣に意見書を提出した。

### 発議案第2号

「議会制度改革の早期実現に関する意見書」

〔全会一致で可決〕

―意見書の内容―

議会が、その期待される役割と責任を果たしていくためには、地方議会制度の改正が必要不可欠であるため、衆議院・参議院の両議長と関係大臣に意見書を提出した。

### 発議案第3号

「道路特定財源制度の堅持を求める意見書」

〔全会一致で可決〕

―意見書の内容―

道路は、国民生活や経済および社会活動を支える最も基本的な施設であり、国土や市内の均衡ある発展と活力ある地域づくりの推進のためには、体系的な道路整備が必要である。

とりわけ、道路整備促進のためには、道路特定財源制度の堅持が必要不可欠であることから、衆議院・参議院の議長と関係大臣に意見書を提出した。



### 表紙の紹介

八幡平市川原で4世代、8人でくらす畠山義雄さんのご家族です。

### あとがき

今回の表紙には、4世代家族を載せていただきました。少子高齢化に伴い、日本もついに昨年、人口減少に転じてしまいました。昨年の国勢調査速報によると、八幡平市の人口は3万1079人です。平成27年には2万9918人まで減少すると想定されています。

人口減少では八幡平市の発展は大きく望めません。市当局、議会、市民の皆さんも今一度、少子高齢化に伴う人口減少について、真剣に考えなければならぬと思います。今、核家族化が進み、たいがいの家は3〜4人の人数です。昔のように大家族の夢をみているのは私だけでしょうか。

委員長 工藤立見